

看護師による脳卒中ケアユニットにおける NIHSS 評価

医療法人翠清会 翠清会梶川病院

仲前 真里 林 彩 野村栄一

若林伸一 梶川 博

I、目的

当院では、脳卒中ケアユニット（以降 SCU と略す）入院患者の状態観察を、NIHSS 評価表を用いて行えるよう取り組んでいる。H22 年 11 月より入院後の NIHSS 評価時間と、評価時の点数変化による報告方法に当院独自の基準を設けた。新たな基準により、症状悪化を早期に発見し報告が行え、治療につなげることが可能であったか、評価の有効性について調査を行ったので報告する。

II、対象

H22 年 11 月～H23 年 1 月までの SCU 入院患者 91 名

III、方法

看護記録より、入院時・入院後 1 時間・3 時間・6 時間・24 時間の NIHSS 評価点数を抽出。医師への報告基準を、NIHSS 点数 4 点以上の悪化、麻痺は 1 点以上の悪化とし、点数悪化時の対応について調査

III、結果

入院後から、NIHSS 点数に悪化がみられたのは全体の 37%であった。評価基準より、点数の悪化はあるが報告対象外は 59%、報告を行ったのは 24%、そのうち追加検査を行ったのは 25%、報告により検査後治療開始となったのは 38%である。

IV、考察

SCU 入院患者の約 40% は、入院後の NIHSS 評価点数に悪化がみられている。悪化がみられたが報告対象外は約 60%を占めているが、意識水準や感覚の項目の悪化で報告対象外となっていた。追加の検査が行われ治療開始となった件数のうち、評価時間 3 時間 6 時間で治療開始された件数は 3 件、24 時間で追加治療が行われた件数は 0 件であった。しかし評価時間以外の 9 時間から 21 時間の間に症状の悪化を報告し、追加治療がはじまったものが 4 件みられ、NIHSS 評価を参考に経過観察していることが、変化に気づく指標となったと考えられる。

V、まとめ

NIHSS 評価表を用いて同じ目線で観察することは、異常に気づき報告・治療開始につなげることができ、有効であったと評価できる。今後は 6 時間から 24 時間の間の評価時間の追加などを検討していきたい。

(文字数 799)

脳卒中ケアユニットにおける NIHSS 評価

医療法人翠清会翠清会梶川病院

仲前 真里

I、目的

当院では、脳卒中ケアユニット（以降 SCU と略す）入院患者の状態観察を、NIHSS 評価表を用いて行えるよう取り組んでいる。H22 年 11 月より入院後の NIHSS 評価時間と、評価時の点数変化による報告方法に当院独自の基準を設けた。新たな基準により、症状悪化を早期に発見し報告が行え、治療につなげるのが可能であったか、評価の有効性について調査を行ったので報告する。

II、対象

H22 年 11 月～H23 年 1 月までの SCU 入院患者 91 名

III、方法

1、看護記録より、入院時・入院後 1 時間・3 時間・6 時間・24 時間の NIHSS 評価点数を抽出

2、医師への報告基準、NIHSS 点数 4 点以上の悪化、麻痺は 1 点以上の悪化をもとに、点数悪化時の対応を調査

- ・ NIHSS 点数悪化件数
- ・ NIHSS 点数悪化も報告対象外の件数
- ・ NIHSS 点数の悪化がみられ、報告を行ったが、様子観察となった件数
- ・ NIHSS 点数の悪化がみられ、報告を行い、追加検査を行った件数
- ・ NIHSS 点数悪化し報告、追加検査を行い、追加治療が開始となった件数

III、結果

入院後から、NIHSS 点数に悪化がみられたのは全体の 33 件であった。評価基準より、悪化 4 点以下で報告対象外件数は 19 件、報告を行った件数 14 件、そのうち追加検査を行ったのは 4 件、報告により検査後治療開始となったのは 7 件であった。

IV、考察

SCU 入院患者の約 4 割は、入院後の NIHSS 評価点数に悪化がみられている。悪化がみられたが報告対象外の件数は 19 件と 6 割を占めているが、意識水準や感覚での悪化で報告対象外となっていた。追加検査治療開始となった件数のうち、評価時間 3 時間 6 時間で治療開始された件数は 3 件、6 時間以降 24 時間以内に追加治療が行われている件数が 4 件みられた。評価時間以外も NIHSS 評価を参考に患者の状態変化を観察していることが、変化に気づく指標となったため、追加検査治療開始につながったと考えられる。

V、まとめ

脳卒中急性期の患者の状態変化を早期に発見し治療につなげることが、SCU における観察の重要性と考える。NIHSS 評価表を用いて観察することは、同じ目線で観察でき、異常に気づくことができるため有効であったと評価できる。今後評価時間の追加などを検討し

ていきたい。